

# 平成 25 年度 国有林モニターアンケート

## 結果概要

この度、国有林モニターの皆様から、森林・林業や国有林野事業に関する関心事項、平成25年度重点取組事項へのご意見、ご感想を伺うため、平成25年6月から7月にかけて国有林モニターアンケートを実施し、64人中52人の方に回答をいただきました。ご協力有難うございました。

以下に、アンケートの結果を報告いたします。なお、意見は抜粋して掲載しております。

### 質問事項

- 国有林野事業の取組について
- 平成 25 年度重点取組事項について
- その他

### 国有林野事業の取組について

問 1 - 1 国有林モニターに応募される以前、国有林に対してどのようなイメージをお持ちでしたか。

#### まとめ

国有林モニターになる前は、「計画的な施業を行っている」「日本の森林保護に対し、大きな役割を果たしている」といった意見があった一方で、多くの方が「具体的な活動・取組が良く見えなかった」「関係がない遠い存在でしかなかった」などの印象を持っていました。

#### 回答例

- ・具体的な活動・取組が良く見えなかった。
- ・国が管理しているので、一般の人にはあまり関係ないものと思っていた。
- ・規制が厳しく一般市民は立入禁止で、日常生活からは遠いイメージ。
- ・外部からの侵入を許さない場所であり、開かれた場所ではなかった。
- ・民有林と違い国が管理しているので、関係がない遠い存在でしかなかった。
- ・国有林があることは知っていたが、どこにあるのか、どのような管理をしているのか、まったく知らなかった。
- ・「国有林」という言葉は知っていた。
- ・いわゆるお役所との感じで良いイメージはなかった。
- ・日本は森林面積が66%を占め、うち国有林が3割を占めるという授業で教えている事項からくるイメージが強く、日本の森林保護に対し、大きな役割を果たしているというイメージ。
- ・森が国有林・民有林また、人工林・天然林などにわかれていることを知らなかった。
- ・計画的な施業を行っている。
- ・日本各地にあり、屋久島など貴重な自然が残っている。
- ・森が荒れているイメージ。

- ・整備されてなく、不便な場所が多い。
- ・日本の森林保護に対し、大きな役割を果たしている。
- ・国有林は広い、山奥にあるという印象。
- ・ただ単に山を保護し、林業の育成が業務。
- ・国土の保全を行っている森林。
- ・自然豊かな森。
- ・水源として必要な森。
- ・国有林の主な事業は保護にあるというイメージ。
- ・歴史的に価値のある山や森。
- ・きれいに手入れが行き届いているのは、国有林なので整備されているのが当然だと思っていた。

問1 - 2 国有林モニターになった後、国有林に対してどのようなイメージをお持ちになりましたか。

#### まとめ

国有林モニターとなった後は、「考えるきっかけができた」「種々の業務が存在することに驚きを感じた」「積極的に利活用されている」などの意見が多く出されました。一方で、「まだよくわからない」や「初心者には、難しいこと、イメージできないことも多々ある」「知る機会が今までなかった」などの意見も出されました。

#### 回答例

- ・親しみがもて、考えるきっかけができた。
- ・長期的に見て有益なことにも取り組んでいる。
- ・屋久島の保全や野生生物の保護事業等、種々の業務が存在することに驚きを感じた。
- ・まだよくわからない。
- ・一般会計化や民有林との協定を結ぶなど、変化の途上にある、という印象を受ける。
- ・国有林をもっと身近な存在にしたい。
- ・高齢化が進む林業の活性化につながる施策や自然保護など、国有林野の関連事業が多岐にわたり森林面積の占める割合の大きなわが国にとって、この事業の持つ役割が非常に大きなことを実感した。
- ・初心者には、難しいこと、イメージできないことも多々ある。
- ・5タイプの機能類型区分に沿って、国有林事業の適切な施業が行われていることを知った。
- ・国有林は視野を広くして、行動のすそ野を大きくとれば、国民から望まれる姿が見えてくると思う。
- ・国有林の管理状況を知り、益々林業の必要性を深く感じる。平成25年度からの機能型区分の取り組みに注目したい。
- ・広報紙等を読んでいくと、国民に対していろいろな行事、対策を行っている事が分かるが、それを知る機会が今までなかった。
- ・国有林を利用した研究やレクリエーション、木材生産が行われている事を知り、積極的に利活用されているイメージを持つようになった。
- ・生物多様性の保全にも取り組んでいることは印象深い。
- ・若者の林業に対する認識不足、関心の無さに将来的に心配。

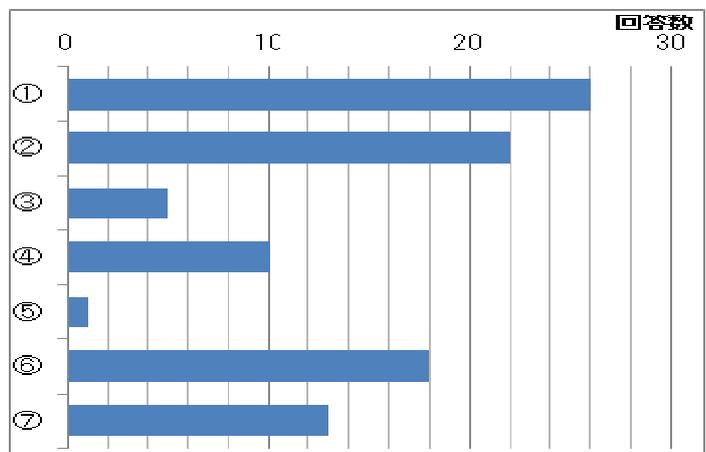
- ・各地でのイベントを通じて、国有林の現状や魅力を伝えようとしている事が分かった。
- ・林業の不振が続く今、民有林を含めた再生のため、リーダーシップをとる管理局が重要。
- ・国有林は、国民の財産であるという認識が私も含めて国民全体にないような気がする。森林管理局のPRが足りないのでは。国有林モニター制度により、少しずつ認識が広がれば良いと思う。

問1 - 3 九州森林管理局の組織に属する機関として次の機関がありますが、皆様が国有林モニターになる前からご存じの機関をお選びください。なお、( )書きは、一般会計化前の組織名となります。(複数回答可)

まとめ

九州森林管理局の組織に属する機関については、九州森林管理局、各地の森林管理署等、各地の森林事務所の順に知名度が高いという結果になりましたが、どれも知らなかったという回答も多く出されました。

- 九州森林管理局
- 各地の森林管理署等
- 森林技術・支援センター  
(森林技術センター)
- 屋久島森林生態系保全センター  
(屋久島森林環境保全センター)
- 西表森林生態系保全センター  
(西表森林環境保全ふれあいセンター)
- 各地の森林事務所
- どれも知らなかった



問1 - 4 国有林(林野庁や森林管理局・森林管理署等)に関する新聞やテレビ、インターネットなどの各種メディアの報道で、印象に残っている内容があれば、その記事、報道の具体的内容(ご記憶があれば、市町村名、あるいは地域名、森林管理局・森林管理署名等の記載もお願いいたします)と、それに対するご意見、ご感想をご記入ください。

まとめ

国有林に関する報道については、豪雨などによる災害、有害獣被害と対策、希少野生動物に関する報道が印象的だったと回答がありました。

また、各種メディアでの情報が少ないという印象があり、情報発信の機会を増やす必要性が求められています。

回答例

- ・報道機関などでは、記憶に残るような内容は少ない。
- ・各種のメディアに接する機会が多い方だと思うが、国有林関連の記事・ニュースで印象に残るものは記憶にない。
- ・今回の「国有林モニター」の件も新聞で知ったが、記事が小さく見逃したかも知れないと思った。
- ・九州北部や紀伊半島の豪雨災害で大木が流されている映像は印象に残っている。自然災害のすさまじさ、怖さにびっくりした。数十年育った木々が一瞬のうちに流される土台

のもろさにむなしさも覚えた。

- ・最近の豪雨や地震による山崩れのニュース。やはり安全対策がどうなっているのか、気になる。
- ・最近よく気になるのが、シカによる食害。保護も必要だけど、何でもバランスが大事だと思う。
- ・外国資本における森林買収に関する調査結果。
- ・神社の御神木が薬で枯らさせられ、伐られたニュースは信じられない悲しいことだった。
- ・対馬市の長崎森林管理署森林事務所が上対馬町小鹿の国有林で水飲み場に姿を現した国の天然記念物のツシマヤマネコの動画を撮影。この記事は、県版トップを掲載され、話題性が注目された。
- ・「国有林の借金金利増の恐れ」この新聞報道を見て改めて国有林経営の台所が大変だと言うことがわかった。一日も早く森林経営（民有林を含む）が明るくなり森林の生産活動が活発になることを祈っています。
- ・第 64 回全国植樹祭の様子もテレビで拝見。感銘を受けたところでしたが、今井通子さんの緑のエッセーにある様に、今日の日本においては、「森に対する各種の働きかけは、一握の人々の努力と思いに支えられている感ありです。」私もまったく同感。
- ・「丹沢のブナ林が 30 年で 20ha 以上草地に！」という記事があった。九州中央山地でも数年前から、ブナハバチによると思われる枯死が目立ち、非常に危惧される状況になっている。丹沢のようにならないように対策の為にまず正確な現状把握が急務だと思っている。

問 1 - 5 九州の国有林について、今後知りたいことは何ですか。（複数回答可）

まとめ

今後知りたい内容について、具体的な事業の内容、イベントの案内、木質資源としての活用、照葉樹林の再生についての関心が高いことが分かりました。

国有林で行っている具体的な事業（森林整備や治山、木材生産など）の内容

森林・林業関係のイベント（林業体験、森林教室など）の案内

国有林の木質資源としての活用に関すること

身近な山の紹介や登山道の情報

国有林に関する野生動植物の情報

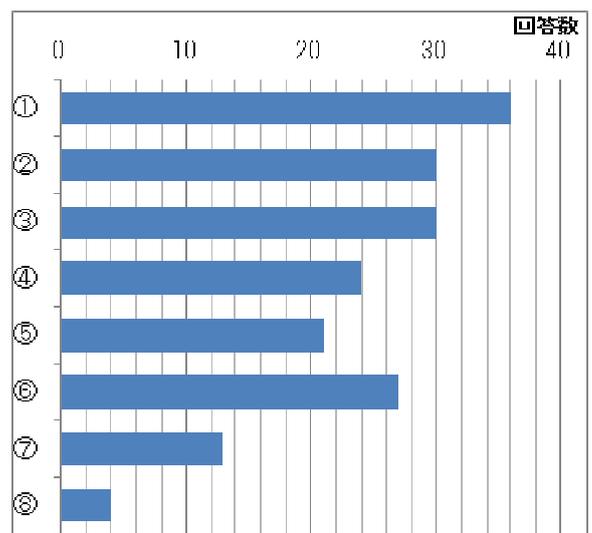
身近にある特別な森林（巨木やレクリエーションの森など）の場所などの情報

国有林の管理経営方針や計画に関すること

その他

その他の回答例

- ・屋久島国有林の木材利用、活用方法。
- ・民有林との一体的な整備についての具体的な取組内容。
- ・照葉樹再生についての考えや取り組み、森づくり、管理方法。
- ・身近な森林管理署、森林事務所の職員の活動内容と声。



問1 - 6 国有林モニターとして、国有林の現地視察を希望しますか。

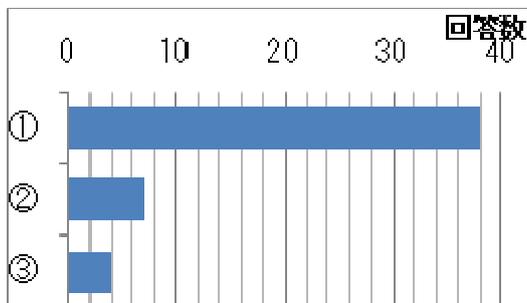
希望する      どちらでもない      希望しない

まとめ

国有林の現地視察について、多くの方が視察を希望され、希少生物の保護、低コスト造林、間伐施行箇所、森林経営など、幅広い分野への関心と意見交換への希望が出されました。

具体的内容の回答例

- ・宮崎県の綾の照葉樹林、その他間伐施業現場。
- ・国有林内の野生動植物や、下層植生の保護対策、樹木管理状態。
- ・屋久島等の離島。
- ・低コスト造林や、試験地、植林後10年～20年の森。
- ・現時点で、国有林の中で具体的にどんな活動しているのか。
- ・間伐材など使って加工品などしている場所。
- ・日本の地形や個人経営の小面積の作業に合った最新の機械見学。
- ・何処にでもある普通の場所でありながら、多くの個人林家が感心し、これからの有り方を考えさせられ、参考にしたい場所。



平成25年重点取組事項について

問2 - 1 九州森林管理局が今年度に重点的に取り組むこととしている事項について、興味がある又は内容を詳しく知りたい事項、内容がよくわからなかった事項をご記入ください。（3つまで選択）

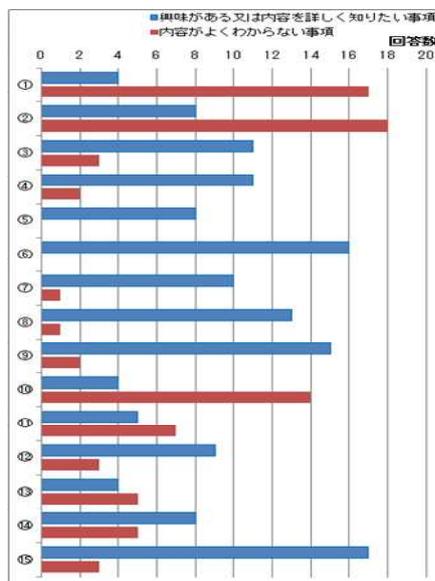
まとめ

今年度の国有林野事業の重点取組事項について、各項目に対してそれぞれ反応があり、森林の管理経営に対する幅広い期待が伺える結果となりました。

よくわからなかった内容として、一般会計の下での国有林野事業や、公益的機能の発揮のための適切な施業の推進等、専門用語の多さが理解の妨げになっていると思われます。

【重点取組事項一覧】

- 一般会計の下での国有林野事業
- 公益的機能の発揮のための適切な施業の推進
- 安全・安心の確保に向けた効果的な治山事業の展開
- 九州北部豪雨等への対応
- 「奄美・琉球」の貴重な森林の保全・管理
- 屋久島世界遺産地域の保全・管理
- 地域との協働による「綾プロジェクト」の推進
- 希少な野生生物の保護管理
- 地域と連携した「シカ被害」への取組
- 森林共同施業団地及び公益的機能維持増進協定の取組
- 准フォレスター等人材育成の推進
- 森林・林業と国民とのふれあい推進



路網整備の推進と低コスト作業システムに向けた取組  
低コスト造林の確立に向けた取組  
国産材の安定供給・利用拡大の推進

問2 - 2 九州森林管理局の平成 25 年度重点取組事項について、ご意見等がございましたら、該当の番号と内容をご記入ください。

#### まとめ

各項目に対して、多くの意見が出されました。中でも、九州北部豪雨等への対応、地域と連携した「シカ被害」への取組について、多くの期待が寄せられました。

#### 一般会計の下での国有林野事業

- ・関係者の中で、一般財源化のデメリット・メリットは、周知の事項かもしれないが、外部の読者にとっては判り難い。
- ・特別会計から一般会計の事業・組織に移行したとのことだが、具体的にどのような変化があったのか。特別会計から一般会計に移行したからといって、方針が変わるものか。また特別会計から一般会計に移行した理由は。
- ・国産材の原木安で荒れた民有林を含めて、木材を東南アジアに向けて積極的に輸出して欲しい。政府の経済援助は、国産材の製品輸出をしてもらいたい。

#### 公益的機能の発揮のための適切な施業の推進

- ・区分することは、日本の森林に必要なことと想っていたので嬉しい。具体的な区分場所を知りたいのと、どのような管理をしていくのか非常に興味がある。

#### 安全・安心の確保に向けた効果的な治山事業の展開

- ・治山事業は非常に重要な事業だと思うが、予算には限りがある。優先順位はどのようにつけられているのか。
- ・川や山をコンクリートでガチガチに固めてしまうだけの護岸ではなく、50年先100年先を見据えた事業を行って欲しい。
- ・杉林も間伐して下草が育てば、保水能力も出来ると聞いたことがある。もし、保水効果があるなら、ぜひ取り組んで欲しい。

#### 九州北部豪雨等への対応

- ・もっと公害、災害対策がなされて良いと思う。
- ・対応について、また、これからの取組について教えていただきたい。
- ・とても昨年とても洪水で大変だったので、予防と早く治せる対策をとって欲しい。
- ・災害から九州を守るためにも、重点的に力を入れて欲しい項目だと思う。また、情報を積極的に発信して欲しい。
- ・自然の力の恐さを知る出来事。いろんな施設点検は、大変だと思うが、これからも早急になにごともやって欲しい。

#### 「奄美・琉球」の貴重な森林の保全・管理

- ・野生生物保護の観点からニュース等で、よく国有林内に住むツシマヤマネコやイリオモ

テヤマネコ、アマミノクロウサギ等を拝見するが、これら希少野生動物が将来に亘って生育し続ける為にも国有林の維持整備の大切さを痛感させられる。

#### **屋久島世界遺産地域の保全・管理**

- ・この地域の保全・管理の推進の中で、データに基づく対策も当然重要だが、もう少し地元に着した措置が必要ではないかと思う。

#### **地域との協働による「綾プロジェクト」の推進**

- ・綾プロジェクトの推進で、芸術性との関係、文化面での充実を知りたい。
- ・綾プロジェクトのように、屋久島でも積極的に、森と親しむ学びの体験プログラムを企画して欲しい。

#### **希少な野生生物の保護管理**

- ・珍しい動物や植物の研究など行ってほしい。
- ・2002年版「レッドデータブックおいた」を持っている。私は野鳥が大好きだが、一般の鳥の数が少なくなってきたのを残念に思う。森と野鳥の関係など調査しているのか。
- ・そもそも現在、国有林内にどれだけの種類のどれだけの数の動植物が生息しているのか今一つ分からない。また過去にネット等で保護している箇所も、補修が必要なところもあり、今後も新設して欲しいところもある。そこで、ブナハバチ食害の状況も合わせ、生態系の調査・モニタリング・ネット等による保護、点検補修などを一体的に事業として取り組んではどうだろうか。

#### **地域と連携した「シカ被害」への取組**

- ・シカ、イノシシが増え被害が増加している。地域の活性化の為にもジビエ料理の普及をして頂きたい。
- ・シカだけではなく、イノシシの被害も出てきているのではないのでしょうか。その取り組みはどうでしょうか。
- ・実家が田舎で山あいであり、ここ数年でシカを何度か目撃した。農作物への被害など多くなっているようだが、シカ駆除によって何か特産品としての利用など出来ないのか知りたい。
- ・海外からの輸入材により林業しても、メシを喰っていけない。まして植林しても、シカによる食害及び角付きによる皮剥れ。シカ被害により、お金にならないため、林業離れにつながる。
- ・シカの被害については、良く耳にする。色々効果を上げる事が厳しく、農林業の被害が言われている中で、シカのイメージ（愛らしさ）があり、駆除等について厳しい目もあるかと思われるが、為すべき事は、やらねばと思う。
- ・地元猟友会との連携や民有林の普及の促進を掲げているが、当地域では、猟友会員が高齢化の為に会員が減少している。若い人に会員になってもらいたいが、新規に免許取得するには、必要経費もかかる。必要経費の一部を国が補助できないか。
- ・奈良県のようなシカと共存するような事が出来ないのか。北海道をはじめとして、駆除する事が最適であるかのような人間優位の考え方はいかなものかといつも感じる。地球温暖化にしろ、全てに動物にしわ寄せが行く。違う展開を期待している。

### 森林共同施業団地及び公益的機能維持増進協定の取組

- ・私が住む地区の森林のうち、国有林は15%、残りは国有林以外の公有林と民有林。都心部に近い「都市近郊林」のため、林業は皆無、スギ、ヒノキの線香材ばかり、竹林は侵食が広がるばかりと、目を覆いたくなる。国有林と連携した合理的なシステムが構築され、民有林の整備が進むことを願ってやまない。協定の締結と、その適切な実施が行われる事を期待している。

### 准フォレスター等人材育成の推進

- ・准フォレスターとは、何。
- ・准フォレスターを始めてこのモニターで知り、一般にももっと分かり易く流布して頂きたいと思う。
- ・持続的に森林経営を行うには、人材育成が欠かせないと思う。災害に強い森林、道路をぜひつくって欲しい。
- ・「准フォレスター等人材育成の推進」大変良いこと。私の地域にも、利用期を迎えた森林資源は多く見受けられる。その資源を活かす為に、安定経営の策をぜひ検討下さい。

### 森林・林業と国民とのふれあい推進

- ・「森林アートギャラリー」熊本市の取り組みは、非常に興味深いものだった。絵を描くことで、森林浴をしながら「樹」を身近に感じさせるチャンスにもつながる。他の地方自治体でも普及してほしい。
- ・せっかくの国有林をもっと身近に、色々な人が関われるようなものを考えてほしいし、資料も森林と私たちのつながりができるような、案内、情報（ハイキングや森林浴、自然観察ができるガイドブック）があると嬉しい。
- ・ふれあいというとお祭り事業みたいになりがちだが、高齢化といいつつも元気な方も多い。もっと参加できる（ボランティア）を定期的に行ってもいいのでは。学校の研修の一環に加えてもらい植樹などの体験で（机上の勉強でなく）ふれあう、松林などの清掃、体を動かして体験する。

### 路網整備の推進と低コスト作業システムに向けた取組

- ・日本の林業家はほとんどが零細（小面積）林業であるから、片手間林業、休日林業の形で作業できる技術の開発が望ましい。高価な大型特殊機械ではなく、個人で所有またはレンタルで簡単に使用できる技術・機械の開発が望ましい。また、地球の裏側から運んでくる木材と地元の木材価格が同じなどと納得できない。

### 低コスト造林の確立に向けた取組

- ・近年の少子高齢化、これは日本全国どの県でもそうです。植林するには掃除からしなくてはならないし、穴掘りも大変な作業である。コンテナ苗であれば楽に植えられるのではないかと思う。
- ・現代病ともいわれている花粉症で、スギが代表されている。また、花粉の少ないスギの品種改良も行われていると聞いたことがあるが、コンテナ苗は、そういったものは利用されているのか。

- ・木造の校舎は子供たちの教育環境としてプラス要因が大きいということがわかっている中で、コスト的に費用が大きくなることから思ったほど増えていない。コスト減が将来の多少の推進要因につながってくればいいのだが。

### 国産材の安定供給・利用拡大の推進

- ・国産材の安定供給・利用拡大の推進を図ることにより、林業の再生活活性化がなされることを願っている。
- ・山の木の原木の価格低下は、下げ止まりが見られない。しかし、製品としての木材価格は下がらないのは、なぜ。
- ・利用拡大の項目で、「腐らない・劣化しない」木材を開発して貰いたい。木材は二酸化炭素の塊であり、土木工事等に利用する事が出来たら、そのまま蓄積することになり、環境保全に大いに役立つのではないかと考える。
- ・補助金が出る（ポイント）対策が戸建てのみだったので、これでは拡大はあまり望めないと思う。今は、マンション公園のリノベーションが進んでいる。もっと枠をひろげて業者（関わる人・インテリア関係まで）にもPRして短期でなくじっくり行ってほしい。

### その他

今回お伺いしたことを含め、森林・林業や一般会計化後の国有林野事業等に対する期待、ご意見、ご要望がございましたら、自由にご記入ください。

#### まとめ

国有林野事業に対する、幅広い期待や情報提供を求める声など、大変多くのご意見をいただきました。

#### 回答例

- ・紙面だけでは、よく理解できないことが多い。
- ・一般会計に移行したあとの、使い道の内訳。コストカットの内容などを教えて欲しい。
- ・今は、森林浴と言われ、心や体にとても良いとされている。登山が、楽しくできるためにも整備され、安全な山になるよう事業を進めてもらいたい。
- ・事業としてツリーハウスのワークショップに取り組んでみられては。若年層のファミリー（特に男性）に国有林に意識を向けてもらうよいきっかけになると思う。
- ・山があって川があり、それが都市部に住む人たちに恩恵を与えている現実から、もっと山間部の人たちの暮らしがよくなるように、広報活動に力を入れて欲しいです。
- ・今後、もっと民有林を含めた、一体的な管理等を行っていただき、緑豊かな大地を維持していただきたい。それには、やはり、マスメディアによる広告・宣伝も必要ではないかと思う。
- ・民有林の所有者の高齢化が進み、適切な森林の育成が成されていない場合が多々あると思う。国として、国有林だけに目を向けず、民有林も一体に考え、日本の森林としての視野を持って事業を展開して欲しい。
- ・森林経営計画がスタートしたことで、森林の団地化が進み、整備が行き届けばいいと思う。日本の森林は木を植えて、手をかければちゃんと育つ。資源として自分たちが楽しむ場、いやされる場として利用したいと思う。
- ・子ども達を対象としたイベントや、教育プロジェクトを充実させてもらいたい。何かきつ

かけがなければ、森や林に行くことすらなくなっている。親の世代も知らないことが多いので、家族参加型のイベントも期待したい。

- ・環境保全・水源確保としての山の存在は、大変重要と思う。このことを広くみんなに知ってもらおう努力をするべきと考える。資源としての木材利用の推進を進めなければ今後の発展は望めない。そのための低コスト化は大変重要だと思う。
- ・私達は、国有林が水を生み、多様な動植物が生育し、国民の憩いの場となり、さらには土砂災害が起こりにくい「豊かな森」つくりのための事業を行って欲しいと願っている。日本の国有林すべてを世界自然遺産にするぐらいの気持ちで取り組んで欲しい。
- ・国策としてもっと林業に力をいれるべきだと考える。若い人が林業に魅力を感じ、林業に従事したいというビジネスモデルをつくるのが国の責任ではないだろうか。森を守るとは、生命を守ること、日本国を守ること、私はそのように考えている。未来の子供たちのために。
- ・森林の役割は、人間が生きる上でなくてはならない存在。今一度、人と自然を繋げること、木を利用し触れ、感じる体験を沢山の人にして頂きたい。林業は、本当に大切。しかし、くれぐれも人本意で進めてはうまくいかない。これからも、発信、取り組みを宜しく願います。
- ・今回送付された、平成 25 年度重点取組事項冊子良くまとまっていて、項目ごとにわかり易く森林管理局の行っている事業について知らされる点が多々あった。また、国有林の重要性を再認識すると共に、今後バイオマス発電用燃料の需要が増すのは必至だけにそれに対する取組にも関心が深まった。
- ・森林、林業を活性化させることで、新しい雇用促進の場所を作る事が、相乗効果で、日本の森林を守り、生かす事につながるのではないかと思う。日本の森林は経費がかかる、後継者不足などの理由で、現状維持するのみに力を入れ、かつ、生かされずに終わっているのは非常にもったいない事だと思う。
- ・私の子供の頃に比べて、子供たちが自然に触れ合う機会が少なくなっている。小中学生の時期に、森林にふれあう機会があれば子供たちにとって貴重な機会となると思う。今の子供たちは木の名前もほとんど知らない。可能なら国有林野事業の中で、青少年の森林とのふれあいの機会をふやすような事業展開を推進してもらえればありがたい。
- ・多くの方が森林に親しみ、理解を深めなければいけないと思った。特に、次の世代の子供達に、森林・林業の世界を教え、学んでいって欲しいと思う。「紙1枚がどうしてできるのか」「地球温暖化対策」など、いろいろな機会をとらえ、子供と大人が協力し合い、学んでいく必要があると思う。それには、マスコミや市報などを通じて、森林に関する興味をもてるような企画を考えていってほしい。
- ・国有林は存在するだけで環境保全や治水対策等の公益的機能を果たしていると思う。今後は森林に対する理解・興味を皆さんが持ってもらえるように広報を充実していくべきだと思う。現在頂いている広報紙等は公共の場に行っても目にする事がない。まず、知ってもらうことが重要だと思う。知らなければ興味も湧かないし、思いつきもしない。国有林がやっている事は非常に良い事だと思うが、先ず皆さんに知ってもらう努力が欲しい。

以上